

進路指導部だより

令和6年12月25日 No. 4
東京都立村山特別支援学校
校長 阿部 智子
担当 屋森 光子

2学期は各学部で様々な進路関連行事が実施されました。今号では中学部、高等部の学習の一部を紹介します。

「日本マイクロソフト株式会社職場見学会」(10月22日) 中学部Cグループ対象

日本マイクロソフト株式会社及び日本ヒューレット・パッカート合同会社の協力の下、中学部生徒のキャリア教育の機会としてオンラインでの職場見学会が開催され、本校からも中学部Cグループの生徒が参加しました。当日は東京都下14校から生徒52名が参加し、オンラインでのフリートークやグループワークに取り組み、働く人々との交流や企業の取組などを体験しました。中学部Cグループの生徒は、日頃からオンラインを活用して他校との協同学習に取り組んでおり、操作等は大変スムーズにできていました。グループのメンバーで協力し、一つの4コマ漫画を完成させるリモートワークをとおして、常に挑戦し、失敗や間違いからも学びを得られることや多様な意見を出し合い話し合うことでより良いものが生まれることを体験する学習となりました。

中学部職場見学・体験(11月12日、14日、19日、20日) 中学部BCグループ対象

中学部では、1、2年生は職場見学、3年生で職場体験を行い、職場や就労の実際を見聞きし、就労の意義や働く人々の様々な思いを知ったり、自身の夢を実現するための課題について考えたりする機会としています。

1年Bグループは、東大和市にある「社会福祉法人友遊会東大和市総合福祉センターは〜とふる」へ行き、障害部門エリアにある進路先の見学や訓練、相談など様々なセンターの機能について説明を受け、学習しました。

2年Bグループは東大和市にある「社会福祉法人みんなの会」へ行き、みんなの家で取り組まれている様々な作業種を見学しました。「さおり織をやってみよう」と次年度の体験へ向け、意欲を高めた生徒もいました。

2年Cグループは、武蔵村山市役所へ行き、各課を回り、その業務について理解を深めました。事前学習で調べた以上に様々な課や業務があることを知り、中でもモノレール推進課の業務に関心を高めたようでした。

3年Cグループは武蔵村山市大南地区図書館へ行き、貸出業務や配架作業等を体験し、蔵書管理業務の苦労やオンラインシステムの有効性について理解を深めました。



高等部進路講演会(12月2日) 高等部全グループ 中学部BCグループ対象

本校卒業生で社会福祉法人いずみライフサポートつばさへ通所されている川畑智幸様と多摩都市モノレール株式会社勤務の鈴木望様を招き、会社や施設での業務内容や生活や余暇活動等について御講演いただきました。

生活介護を利用されている川畑様からは、「生活介護はレクリエーション活動や軽作業、創作活動が中心のため、『遊んでいる』と考える気持ちがあったが、活動内容や道具の考案、法人季刊誌へのコラム掲載、ホームページ更新と、自分にできることで活躍し貢献していけると捉えられるようになった。」とお話がありました。

生徒からは「一般企業への就職を希望していますが、学生時代から取り組むとよいことや大切なことを教えてください。」という質問が出され、鈴木様からは、「授業を真面目に受けることは大切で、採用選考では、数学や小論文など学校で学習した内容が出る場合もある。苦手意識があることでも諦めずに取り組むことが大切である。学生時代にパソコンの資格を取っておくことも有意義である。現在の趣味は、学生時代に興味をもったことがきっかけとなっているので、自分の好きなことを見つけることも大事である。」などのアドバイスがありました。

また、会社や社会に障害を理解してもらうことの難しさについて、「障害を理解してもらうためには自分で発信していくことが大切である。自分で頑張ることも大切だが、依頼したり、支援を受けたりすることも急にできることではないので、経験していくことが大切である。」と助言がありました。就労を継続するためには、心身のメンテナンスが必要であること、一人暮らしに移行し、楽しみであるライブへ行く頻度を調整して、休日にヘルパーと一緒に家事を行っていることなど、卒業後の実際の生活についての話を聞き、自身の将来について考える機会となりました。